

# 硬質小麦有望系統「ゆめかおり」について

## 1 来歴

- (1) 育成地 長野県農業試験場
- (2) 交配組合わせ 「西海 180 号 (ニシノカオリ)」 / 「KS831957」

## 2 特徴

- (1) 製パン性に優れる硬質小麦である。
- (2) 播性程度 I～II で、「ハナマンテン」に比べ出穂期は 4 日程度、成熟期は 2 日程度遅い。
- (3) 「ハナマンテン」に比べ、稈長は長く、穂長は短い。穂数は畑で多い。
- (4) 「ハナマンテン」に比べ、千粒重は大きい、収量は同程度である。
- (5) 「ハナマンテン」に比べ、外観品質は水田で同程度、畑で良好、蛋白質含有率は高い。
- (6) 穂発芽性は「やや難」で、コムギ縞萎縮病抵抗性は「強」である。
- (7) 栃木県、長野県、茨城県、山梨県、神奈川県、群馬県で奨励品種等に採用。

## 表 奨励品種決定調査結果

田畑	品種 系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	収量 (kg/a)	同左対 標準 比率(%)	容積 重 (g)	千粒 重 (g)	品質 概評	蛋白質 含有率 (%)
田	ゆめかおり	4/20	6/8	92.0	7.5	553	0	57.1	97	871	46.5	5.0	14.2
田	ハナマンテン	4/16	6/7	74.0	9.0	540	0	58.9	100	842	40.5	5.0	11.3
畑	ゆめかおり	4/20	6/9	102.0	8.6	824	1.3	72.7	101	859	45.5	4.0	13.1
畑	ハナマンテン	4/17	6/6	80.0	9.4	753	0	70.7	100	824	40.4	5.5	11.6

※1) いずれの処理も2012～2013年播平均。品質概評、蛋白質含有率は2013年播の値。

※2) 倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階評価。以下、同様

※3) 品質概評は1(上上)～6(下)の6段階評価。以下、同様

## 3 令和4年播(令和5年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査を平成 24、25 年度の 2 年間実施した。調査結果の概評は、粒が大きく、畑の「ハナマンテン」に比べて多収であり、水田の「さとのそら」に比べてやや低収であった。今年度、気候変動の影響を考慮し、改めて県内 5 か所で実施し、現地適応性を検討中。

## 4 選定理由

パンや中華麺に使用される硬質小麦については、輸入割合が高いものの堅調な国内需要が見込まれており、本県でもこうした需要に対応でき、かつ県内各地にて安定生産が可能な品種の導入が求められている。

「ゆめかおり」は粒が大きく、水田作・畑作ともに蛋白質含有率が高いこと、収量が同程度であったこと、近隣他県で導入されていること等の理由から選定した。

# 硬質小麦有望系統「ハナチカラ」について

## 1 来歴

- (1) 育成地 長野県農業試験場
- (2) 交配組合わせ 「東山 40 号 (ハナマンテン)」 / 「東北 214 号 (ゆきちから)」

## 2 特徴

- (1) パン・中華麺用超強力硬質小麦品種である。
- (2) 播性程度はIVで、「ハナマンテン」に比べ出穂期は6日程度、成熟期は2日程度遅い。
- (3) 「ハナマンテン」に比べ、稈長は長く、穂長は水田で短く、畑で同程度であり、穂数は少ない。畑で倒伏が発生した。
- (4) 「ハナマンテン」に比べ、千粒重は小さく、収量は低い。
- (5) 「ハナマンテン」に比べ、外観品質はやや劣り、蛋白質含有率は畑でやや高い。
- (6) 穂発芽性「難」、コムギ縞萎縮病抵抗性「強」である。
- (7) 長野県で奨励品種に採用。

表 奨励品種決定調査結果

田畑	品種 系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	収量 (kg/a)	同左対 標準 比率(%)	容積 重 (g)	千粒 重 (g)	外観 品質	蛋白質 含有率 (%)
田	ハナチカラ	4/19	6/5	84.2	8.6	497	0	55.9	89	806	38.5	5.0	11.6
田	ハナマンテン	4/14	6/3	79.6	9.3	591	0	63.0	100	835	40.1	4.0	11.5
畑	ハナチカラ	4/20	6/6	110.7	9.9	718	3.5	64.2	78	758	32.7	5.0	11.5
畑	ハナマンテン	4/13	6/4	96.1	9.7	960	0	82.6	100	817	39.1	4.0	10.9

※1) 田は2012、2013、2105年播平均、畑は2015年播のみ。品質概評、蛋白質含有率は2013、2015年播平均。

## 3 令和4年播(令和5年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(1年目)を県内5カ所で実施し、現地適応性を検討中。

## 4 選定理由

パンや中華麺に使用される硬質小麦については、輸入割合が高いものの堅調な国内需要が見込まれており、本県でもこうした需要に対応でき、かつ県内各地にて安定生産が可能な品種の導入が求められている。

「ハナチカラ」は現認定品種である「ハナマンテン」同様の超強力という特徴を有すること、播性程度がIVであり凍霜害を受けにくいと考えられること等の理由から選定した。

# 硬質小麦有望系統「タマイズミ R」について

## 1 来歴

- (1) 育成地 農研機構 次世代作物開発研究センター
- (2) 交配組合わせ 「BC<sub>2</sub>F<sub>2</sub> (タマイズミ/ゆめちから)」 / 「BC<sub>3</sub>F<sub>2</sub> (TM1G1833/タマイズミ)」

## 2 特徴

- (1) 中華麺適性、醤油醸造適性に優れる硬質小麦である。
- (2) 播性程度はⅠ～Ⅱ<sup>\*</sup>で、「ハナマンテン」に比べ出穂期は同程度、成熟期は3日早い。
- (3) 「ハナマンテン」に比べ、稈長はやや短く、穂長はやや短く、穂数が多い。
- (4) 「ハナマンテン」に比べ、千粒重は同程度だが、収量は低い。
- (5) 「ハナマンテン」に比べ、外観品質は同程度、蛋白質含有率はやや低い。
- (6) 穂発芽性は「やや難」<sup>\*</sup>、コムギ縞萎縮病抵抗性は「強」、うどんこ病抵抗性は「弱」<sup>\*</sup>である。
- (7) 栃木県、三重県で奨励品種等に採用。

※「タマイズミ」の特性

## 表 奨励品種決定調査結果

田畑	品種 系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	収量 (kg/a)	同左対 標準 比率(%)	容積 重 (g)	千粒 重 (g)	外観 品質	蛋白質 含有率(%)
田	タマイズミR	4/15	5/30	86.3	9.4	625	0	69.2	93	870.5	41.5	1.0	11.0
田	ハナマンテン	4/14	6/2	88.7	10.3	512	0	74.7	100	874.2	40.8	1.0	11.7

※1) データは2021年播のみ。

## 3 令和4年播(令和5年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(1年目)を県内5カ所で開催し、現地適応性を検討中。

## 4 選定理由

パンや中華麺に使用される硬質小麦については、輸入割合が高いものの堅調な国内需要が見込まれており、本県でもこうした需要に対応でき、かつ県内各地にて安定生産が可能な品種の導入が求められている。

「タマイズミ R」は、成熟期が早いこと、稈長がやや短く倒伏が発生しにくいと考えられること等の理由から選定した。